

渋沢敬三と宮本常一―旅で感じる地域の魅力と底力

安溪遊地（あんけいゆうじ）・安溪貴子 a@ankei.jp

本日の問いかけ

1. 関釜フェリーで下関に着いた客のほとんどの目的地は九州。山口の魅力、どこが足りない？
2. コロナでお客が激減して、それでも生き残るために、どんな地域の底力が必要でしょう？

0. 自己紹介―文理融合の夢、研究＝教育＝生活 の実践

- ・生物学・文化人類学を教えながら、生物文化多様性研究所
- ・阿東つばめ農園・おひさま発電所・おひさま交流館
- ・遊地＝日本生態学会自然保護専門委員（エネルギー担当）
- ・貴子＝中国四国農政局南周防農地整備事業環境配慮検討委員会委員、山口県農業農村整備環境情報協議会委員、山口県環境保全型農業推進研究会副会長、山口の種子を守る会世話人など

1. 農民・研究者・社会運動家―宮本常一先生との出会い

- ・調査されるという迷惑―渋沢敬三氏の教え
- ・宇部小野田の炭坑に生きた人々からの聞き書き

2. 昔タンコウ今カンコウ―西表炭坑とリゾート・大牟田のとりくみ

- ・渋沢敬三の見た西表炭坑とその後
- ・現在のリゾート開発のもたらす光と影

3. 足もとのゆたかな自然をみなおす

- ・田んぼの生き物との出会い方の作法
- ・再生可能エネルギーと持続可能な観光の夢



参考文献・ウェブサイト

安溪遊地・井竿富雄編著 2017『東アジアに輝く——長州山口の遺産・自然と文化の再発見』

<https://www.yamaguchi-ebooks.jp/?bookinfo=kendaicoc6kirameku>

井竿富雄・吉永敦征・安溪遊地 2017『上山満之進と陳澄波——山口県と台湾の友好をめざして』

<https://www.yamaguchi-ebooks.jp/?bookinfo=kendaicoc7taiwan>

岩野雅子・斎藤理編著 2018『つなぐ・つくる・こえる——山口のあらたな光を観るために』

<https://www.yamaguchi-ebooks.jp/?bookinfo=kendaicoc8hikari>

QRコード中

熊谷博子、2008「三池—終わらない炭鉱（やま）の物語」（DVD）、シグロ

熊谷博子、2012『むかし原発 いま炭鉱——炭都〔三池〕から日本を掘る』中央公論新社

佐野眞一 2009『宮本常一と渋沢敬三——旅する巨人』（文春文庫）

佐野眞一 1998『渋沢家三代』文春新書

渋沢敬三アーカイブ <https://shibusawakeizo.jp/writing/chosakusyu01.html>

QRコード左

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会、2013「念願の追悼碑ついに完成！！」

<http://www.chouseitankou.com/>

溝手朝子・Efrain Villamor Herrero編著／安溪遊地監修 2019『地中海食と和食の出会い—バス

ク人サビエルと大内氏の遺産を生かして』南方新社 <http://ankei.jp/yuji/?n=2353>

宮本常一、2005「宇部・小野田炭坑古老聞書」『宮本常一—KAWADE道の手帖』河出書房新社

宮本常一・安溪遊地、2008『調査されるといふ迷惑——フィールドに出る前に読んでおく本』み
ずのわ出版